

ラヴェル作曲 歌劇「スペインの時」

180316

幕	場	場面	内容	分	主な歌う登場人物					見どころ
一幕 45分	1	ラミーロは、中が空洞の時計の上げ下ろしのために二階に二回上がる	時計屋トルケマダの店に、ラバ曳きのラミーロが来て、時計の修理を依頼する。 女房のコンセプションが、「町の時計台の時刻合わせに行く時間よ！」と言うので、トルケマダは、ラミーロに、「帰りを待っていてくれ。」と頼む。 亭主の留守中に愛人ゴンサルヴェと楽しもうと思っていたコンセプションは、ラミーロに居られたら邪魔なので、一計を案じラミーロに「時計を二階に運んで欲しい。」と頼む。 ①ラミーロは、時計を持って、二階に上がる。	8	トルケマダ	コンセプション	ラミーロ			
	2		コンセプションの愛人ゴンサルヴェが現れるが、彼は自作の恋愛詩を披露することで頭がいっぱいで、早く楽しみたい彼女の気持ちがわからず、詩の朗読ばかりしている。 一階に居たら落ち着かないのでコンセプションは、ゴンサルヴェと二階でゆっくり楽しもうと、降りてきたラミーロに、さっき運んだ時計の代わりに別の時計を二階に上げてくれ、と頼む。 ②ラミーロは、二階に上がって行くが、その間にゴンサルヴェは時計の中に隠れるのである。	6		コンセプション	ラミーロ	ゴンサルヴェ		
	3	ラミーロは、中にゴンサルヴェがいる時計の上げ下ろしのために二階に二回上がる	銀行家イニーゴがやってきて、コンセプションを口説き始めるが、嫌がられる。 ③ラミーロは、時計を一階に降ろした後、ゴンサルヴェが入った別の時計を二階に上げる。 コンセプションも、ゴンサルヴェと楽しむために、イニーゴを無視して二階に上がる。	6		コンセプション	ラミーロ		イニーゴ	
	4		コンセプションは、二階に居られたら邪魔なラミーロに、店番をお願いと言って、一階に行かせて楽しむことにした。しかし、そのうちコンセプションが降りてきて、時計の中にいるゴンサルヴェが詩の朗読ばかりするので、その気にならず「楽しめなかった」と言って嘆く。 ④ラミーロは、中にゴンサルヴェが入った時計を降ろすために上がる。	9		コンセプション	ラミーロ			
	5	ラミーロは、中にイニーゴがいる時計の上げ下ろしのために二階に二回上がる	なお口説きたいイニーゴは、時計の中に入っておどけて気を引こうと一生懸命であるが、若者より年配者の方が魅力的であると言い、コンセプションは、ようやくその気になった。 ⑤ラミーロは、中にゴンサルヴェが入っている時計を一階に降ろし、中にイニーゴが入っている別の時計を持って二階に上がる。	4			ラミーロ		イニーゴ	
	6		コンセプションは、ゴンサルヴェに帰るよう言うが、ゴンサルヴェは相変わらず気にせず、朗読を続けるので、相手にせず、コンセプションは二階に上がる。 運び終わったラミーロが降りてきたので、ゴンサルヴェは、再度時計の中に隠れる。 ⑥ラミーロは、コンセプションが不満げに降りてきたので、時計を降ろしに二階に上がる。	10		コンセプション	ラミーロ	ゴンサルヴェ		
	7	ラミーロはコンセプションと二階に上がる	イニーゴは、肥満が原因で、時計から抜けられなくなり、楽しむことが出来ず、コンセプションの欲求不満が爆発する。ラミーロは、中にイニーゴが入っている時計を降ろす。 ⑦ラミーロは、コンセプションから誘われて、一緒に時計なしで二階に上がる。	5		コンセプション	ラミーロ			
	8	トルケマダが戻り、イニーゴとゴンサルヴェは、時計を買う羽目になりみんなで五重唱	ゴンサルヴェもイニーゴも時計の中に入っていたままであったが、時計屋トルケマダが帰ってきて、見つかる。 トルケマダの疑惑を招くまいと、まず、イニーゴは振り子をよく見ようとして閉じ込められてしまった、と言い訳し、次に、ゴンサルヴェは時計を買うのだと言い訳した。 ラミーロとコンセプションが二階から降りてきたので、みんなでイニーゴを引き出そうとするが、うまくいかなかったが、ラミーロが一人で簡単に引き出してしまった。	7	トルケマダ	コンセプション	ラミーロ	ゴンサルヴェ	イニーゴ	
	9		キューピットの思し召し次第で、恋人になるチャンスがある、とみんなで歌い幕。	4	トルケマダ	コンセプション	ラミーロ	ゴンサルヴェ	イニーゴ	

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。